

【ミニチュアビストロ展 2026 in 大阪 参加アーティスト】

■ ミニ厨房庵(Instagram @minichuubouan_tyakitchen)

属加工の技術を活かし、ミニチュアサイズの鍋や調理器具など、細部までこだわった作品を制作。東京にてドールハウスショップ「ミニ厨房庵」を設立し、現在は工房兼ショップを拠点に、ネット販売やイベント出展を中心に幅広く活動している。これまでに全国各地の百貨店での展示・個展をはじめ、数多くのミニチュアイベントに参加。その作品は国内外のメディアでも高く評価され、テレビ出演・新聞掲載・企業誌掲載のほか、海外博物館での展示、テレビCMへの採用、海外雑誌への掲載など、国際的な実績も豊富である。海外では「TYA Kitchen」名義で活動を展開し、繊細かつリアルな再現力によって、多くのファンを魅了している。



■ N=yatsugatake(Instagram @nyatsugatake_fanlab)

ドールハウスやジオラマの手法を用い、1/24～1/720 スケールで多様なミニチュア作品を制作する作家。緻密な造形力と空間演出に優れ、表現の幅広さを活かして、これまでにさまざまなアニメ作品とのコラボレーションを行っている。シーン再現や世界観の構築に定評があり、ミニチュアでありながらも原作の魅力やストーリー性を立体的に表現。アートとしても高い完成度を誇り、アニメファンのみならず幅広い層から支持を集めている。



■ Renée miniature (Instagram @renee_miniature)

1994年ごろからドールハウスの制作を開始。建物から家具に至るまで、自ら設計・製作を手がける。木工や粘土のほか、編み物、刺繍、裁縫、ステンドグラス、ペーパークラフト、レジンクラフト、レザークラフトなど、リアルサイズの多様な技法を取り入れながら、オリジナリティあふれる作品を生み出している。



「ナチュラルな雰囲気、リアルとファンタジーが混ざり合った、見ていると優しい気持ちになれる空間をつくりたい」という想いのもと、繊細で温もりのある世界観を表現している。

■ さかなさん(@sakanasan2021)

小さな頃からミニチュアフードや食品サンプルに強い憧れを抱いていた作家。

子どもの小学校入学をきっかけに、長年の夢だったミニチュアフード制作をスタート。「美味しそうでかわいい定食作り」をテーマに、見た人が思わず笑顔になるような、あたたかみのある作品を手がけている。家庭的な食卓をモチーフに、リアルと遊び心を織り交ぜた独自の世界観が魅力。



■[kodamama\(@kodamama1106\)](#)

「娘をアンパンマンミュージアムに連れて行きたい！」という想いをきっかけに、ミニチュア制作の道へ。何の知識もない状態から、100円ショップの粘土とアクリル絵の具を手に、独学で制作をスタート。それから8年、地道な努力を積み重ねながら、温かみのある作品づくりを続けてきた。

現在は、「ミニチュア写真の世界展」や博多阪急、阪神百貨店など、全国の展示会で作品の展示・販売を行うほか、習い事アプリ「miroom」では講師としても活躍中。見る人に楽しさと優しさを届けるミニチュアの世界を広げている。



出展者は上記ほか、いとさん、ウオちゃんのフェイクフード屋さん、大野幸子、くげぬま工房、こいなつ、さくさく庵、さんぽみち、ことなのうそっこ食堂、竹田文子、たまや食堂、ちねり工房つなまよん、西美加子。、こびとさんの料理人 にあしもん、ふくねこ、まいにちごまふう、マロン、ミツハシモトヒロ、ミニチュア喫茶とらこ、ミニチュア café*みる、ゆきんこ、ebisukaasn、Espoir、Lumiere Anna、*miniaturefood Kei*、mitsu-Ki、mizoregumo、popopo、RICCO HOUSE、R.miniart、Seakarats、otomenokai、y's factory など全 37 組を予定。

※出展クリエイターは予定となります。